

新型コロナウイルス感染症発生のご報告（第1報）

1月26日以降、新型コロナウイルス感染症専用病棟ではない一般病棟において入院患者5名、医師1名、看護職員2名の感染が確認されました。既に所轄の保健所と連携して対応を開始しており、感染者は専用病棟へ隔離し、感染者と濃厚接触と判断された職員は全員自宅待機としております。

感染者と接触の可能性のある患者、関連部署の職員に対してPCR検査を進めているところです。また、当該病棟への入院を制限しております。

当院におきましては、職員に対して就業前の体調管理、適切な防御装備の装着など、厳重な感染対策を講じており、感染徴候を有する職員は認めておりませんでした。そのため、感染経路としては、無症状病原体保有者（※）による院内への持ち込みが疑われております。あるいはすでに院外で感染していた患者さんが、入院時に実施したPCR検査で陰性（偽陰性）と判定され、その後に院内で拡大した可能性もありますが、詳細は調査中です。

皆さまにおかれましては、ご心配・ご迷惑をおかけいたしますが、全力で感染対策に取り組んでおりますので、何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。今後、詳細が判明次第、順次お知らせいたします。

一般診療（外来、入院）につきましては、通常通り行っております。

※ 無症状病原体保有者：全く症状を出さず、自分でも感染していることに気付かない状態の感染者と定義され、新型コロナウイルス感染症の30%に存在するとされています。

2021年1月29日

順天堂大学医学部附属静岡病院院長

佐藤浩一